

別紙1 機能要件一覧

分類	No.	機能要件
1. 基本機能	1	アンケートの作成、配信、集計、分析ができること。
	2	アンケートは、「〇〇調査」や「〇〇イベント」など目的や用途別にプロジェクト等で管理できること。
	3	ユーザーアカウントを複数作成し、管理することができること。
	4	アカウントごとに閲覧可能なアンケートやプロジェクト等の権限を設定できること。また、作成権限、分析結果の閲覧権限など、機能ごとに権限を分けて管理することもできること。
	5	アンケートは、PC、スマートフォン、タブレットなど、様々なデバイスに対応し、回答者の端末に応じて、適切な画面レイアウトで表示されること。
	6	アンケートは、作成した質問や回答内容、集計・分析結果を、PDFや画像、CSV等テキストデータの様々な形式で出力できること。
2. アンケート作成	7	質問は、単一選択式、複数選択式、マトリクス表、ドリルダウン、フリーコメント、NPSなど、様々な形式が選択できること
	8	質問内の単語を市町毎に異なる単語に表示ができること。
	9	質問内の単語を市町毎に異なる単語に表示する場合、同内容の質問は県全体の分析時には同設問として扱えること。
	10	質問は、全市町共通質問に加え、市町独自質問も設定できること。
	11	選択肢や尺度の数、種類に応じて、最適な選択肢や尺度を自動的に生成することができること。（「とても満足～とても不満」、「そう思う～そう思わない」など）
	12	マトリクス表やNPSは、満足度などの尺度表示が縦横どちらの位置にも設定できること。また、上下・左右どちらにもポジティブ・ネガティブの尺度を設定できること。
	13	回答内容に応じて、質問の分岐やスキップなど、質問に対する条件分岐を設定することができること。
	14	回答内容に応じて、選択肢の分岐や表示・非表示など、選択肢に対する条件分岐を設定することができること。
	15	選択肢や尺度は、同じアンケート内の別の質問から参照し、繰り返し使用することができること。
	16	選択肢には識別子等を設定でき、分析時の重み付けなどに利用できること。
	17	アンケートのプレビューが表示できること。また、スマートフォン画面のプレビューも表示できること。
	18	複数選択式の質問で「その他」や「該当なし」などを選択した場合、他の選択肢のチェックが外れるなど、矛盾した回答とならないよう制御できること。

分類	No.	機能要件
	19	作成したアンケートに対して、質問数や質問内容から回答に要する時間の予測、マトリクスやフリーコメントなど特定の質問形式の数、モバイルデバイスへの最適化などの観点から、途中離脱の傾向分析やアンケートの改善についてレビューが行えること。
	20	アンケートの開始や終了に表示される画面をカスタマイズできること。
	21	アンケートを多言語に翻訳し、表示を切り替えることができること。
3. アンケート配信	22	配信方法は、Web、メール、SNS、QRコードなどが選択でき、複数の方法を組み合わせて配信することもできること。
	23	アンケートの配信は、公開期間（日時）を設定でき、公開期間中のみアンケートに回答できること。
	24	アンケートの配信は、回答数の上限を設定でき、上限を超えて回答できないようにできること。
	25	アンケートの回答は、属性（性別や年代等）で回答数の割り当てを任意で設定可能とし、上限に達した場合の制御方法も複数選択できること
4. アンケート集計・分析	26	リアルタイムに回答を集計し、質問形式に応じたグラフなどを自動的に生成して表示することができること。
	27	ユーザーが集計や分析の結果を自由に配置して表示できること。 （以下、「ダッシュボード」という。）
	28	ダッシュボード画面では、回答と表示形式（グラフ、表、画像、テキストなど）をユーザーが自由に組み合わせて、配置できること。
	29	ダッシュボード画面では、グラフ上をマウスオーバーなどの簡単な操作で、ツールチップ上に割合や件数など、詳細な内容が表示できること。
	30	ダッシュボード画面では、フィルター等で容易に回答者の属性などで絞り込むことができること。また、リアルタイムでフィルターの結果がグラフ等の集計や分析に反映されること。
	31	ダッシュボードで使用する回答データは、分析やグラフで利用しやすいよう、データセットの変更（数値化、テキスト化）やグループ化、指標のカスタマイズなどができること。
	32	ダッシュボード画面は同一のアンケートに対しても複数作成することができ、用途に応じて使い分けができること。（例えば、窓口における満足度調査であれば、窓口別にダッシュボードを用意できるなど）
	33	集計結果や分析結果は過去のアンケート結果との比較・分析が容易にでき、傾向や推移をダッシュボード等で表示できること。
	34	各市町が随時（あるいは一定間隔）に分析結果を確認できるようにすること。
	35	各市町が参照できる分析結果は、自市町データと県全体のみとし、他市町のデータは閲覧できないようにすること

分類	No.	機能要件
	36	選択肢の識別子や重み付けは、アンケート回答後に設定することもできること。
	37	複数のアンケートを1つのダッシュボードで合わせて表示あるいは、個別表示ができること
	38	1つのダッシュボードでログインユーザーの権限に応じて表示する内容を自動で制限できること。
	39	NPSや満足度などから、相関係数を算出し、分析できること。
	40	フリーコメントなどのテキストから、トピックによる分類や感情による分析が自動できること。
	41	各市町の担当者が個別IDを任意に管理でき、ログインすることで自市町および、全市町との比較データがリアルタイムに同一画面上で確認できること
	42	ダッシュボードはスマホからのアクセスも可能とし、モバイル専用の表示が可能であること。
5. アンケート管理	43	アンケートの回答データには、アンケートの開始日、終了日、IPアドレスや固有の回答ID、進捗率など、メタデータを記録できること。
	44	アンケートの回答データを一覧で表示でき、回答内容等でフィルターをかけられること。
	45	回答データの一覧表示時には、質問項目を任意に絞って表示できること。
	46	回答データを個別に削除できること。
	47	回答データに意図しない個人情報が含まれている場合などに、データの編集ができること。また、編集の履歴が残ること。
	48	アンケートには個人情報含まず、インセンティブ対応で使用する場合のみに、送付先メールアドレスを使用し、個人名等は収集しないこと
	49	回答データは以下の形式で出力が可能であること CSV/TSV/Excel/XML
	50	回答のボット検出ができること。
	51	二重回答の検出、または、回答拒否ができること。
	52	アンケートの回答内容に応じて、回答者へのメールによる自動返信や、市担当者へのメール通知を行うなど、個別のタスクを設定できること。
6. インセンティブ対応	53	抽選機能がアンケートに実装できること。当選確率や条件を任意に設定可能なこと。
	54	抽選機能はオンオフ可能なこと。

分類	No.	機能要件
	55	アンケートをすべて回答後に抽選を行えること。
	56	スクリーニング質問でアンケート終了となった場合は抽選は行わないこと。
	57	抽選において、メールアドレス等の個人情報を用いないこと。
	58	当選者に対するギフト受取用ページの表示を、自動でギフトベンダーと連携して行えること
	59	一定期間経過したインセンティブ対応でを使用したメールアドレス情報は自動的に削除できること
	60	同一の端末からのアクセスについて検知し、重複時の抽選条件として設定できること
7. その他	61	システムの利用はインターネットまたはLGWANから接続出来ること。
	62	アンケートの作成、分析など、ツールの操作方法について、日本語の動画コンテンツが用意されていること。
	63	操作方法に対するサポート窓口等の対応が可能であること。
	64	単年度または利用月数ごとの契約ができること。
	65	アンケート作成数や回答数に制限がないこと。